

研究会:ミューオンによる非破壊分析の可能性 - 考古学・文化財への応用を考える -

会期:2018年11月12日(月)~13日(火)

会場:大阪大学・豊中キャンパス・H701大会議室

ホームページ:<http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/~music/muana18>

2018年11月12日(月)

セッション	SID	開始時刻	終了時刻	講演時間	講演番号	講演者	所属	講演タイトル
	0	9:00	10:00	1:00				Registration
Welcome	1	10:00	10:10	0:10	0	TBD	大阪大学	welcome
ミューオン分析紹介	1	10:10	10:50	0:40	1	佐藤 朗	大阪大学	ミューオン非破壊分析の紹介
ミューオン分析紹介	1	10:50	11:30	0:40	2	二宮 和彦	大阪大学	ミューオン非破壊分析の原理、測定例と将来計画
		11:30	11:45	0:15				休憩
ミューオン分析紹介	2	11:45	12:25	0:40	6	久保 謙哉	国際基督教大学	負ミューオンを使った非破壊化学分析の紹介
ミューオン分析紹介	2	12:25	13:05	0:40	14	南 健太郎	岡山大学	考古学とミューオン非破壊分析
		13:05	14:05	1:00				昼食
ミューオン分析紹介	2	14:05	14:25	0:20	21	河村 成肇	高エネ研	J-PARCミューオン実験施設
考古学・文化財科学	3	14:25	15:05	0:40	5	長柄 毅一	富山大学	考古・文化財資料の科学分析の現状と課題-青銅器を中心に-
考古学・文化財科学	3	15:05	15:45	0:40	15	廣川 守	泉屋博古館	泉屋博古館における蛍光分析調査事例紹介
考古学・文化財科学	3	15:45	16:25	0:40	9	外山 潔	泉屋博古館	仏像の蛍光X線分析
		16:25	16:40	0:15				休憩
考古学・文化財科学	4	16:40	17:20	0:40	7	馬淵 久夫	元東京文化財研究所	鉛同位体比による三角縁神獣鏡の原材料産地と製作地の研究
地球惑星科学	4	17:20	18:00	0:40	10	寺田 健太郎	大阪大学	「はやぶさ2」試料の初期分析に向けた地球外物質試料のミューオン非破壊分析の現状
議論	4	18:00	18:40	0:40	31	司会	-	議論(ミューオン非破壊分析への要求)
		19:00	21:00					懇親会

2018年11月13日(火)

セッション	SID	開始時刻	終了時刻	講演時間	講演番号	講演者	所属	講演タイトル
分析最前線	5	9:00	9:40	0:40	12	豊田 岐聡	大阪大学	質量分析の最前線
分析最前線	5	9:40	10:15	0:35	19	寺田 健太郎	大阪大学	質量分析による同位体比測定
分析最前線	6	10:15	10:40	0:25	20	小田 寛貴	名古屋大学	青銅器の緑青を試料とした14C年代測定の可能性
		10:40	10:50	0:10				休憩
宇宙線ミューオン	5	10:50	11:30	0:40	3	森島 邦博	名古屋大学	ミューオン透過法による透視技術とピラミッドなど考古学遺跡調査への適用
宇宙線ミューオン	5	11:30	12:10	0:40	4	宮寺 晴夫	東芝エネルギーシステムズ	ミューオン散乱法による3次元分析
議論	6	12:10	12:50	0:40	30	司会	-	議論(宇宙線ミューオン利用の可能性)
		12:50	13:50	1:00				昼食
分析最前線	7	13:50	14:30	0:40	13	上梶 真之	高輝度光科学研究センター	放射光CT装置を用いた非破壊分析の現状と将来の開発
分析最前線	7	14:30	15:10	0:40	11	篠原 武尚	日本原子力研究開発機構	中性子分析の最前線
考古学・文化財科学	7	15:10	15:50	0:40	8	田中 真奈子	昭和女子大学	放射光と中性子の相補利用による鉄鋼文化財の非破壊分析
		15:50	16:05	0:15				休憩
考古学・文化財科学	8	16:05	16:45	0:40	17	上田 直弥	大阪大学	前期古墳研究の方法論—三角縁神獣鏡とその周辺—
議論	8	16:45	17:25	0:40	40	司会	-	議論とまとめ